

「文系のセキュリティ」を語り尽くさNight @越後湯沢

～ 規程のうまい回し方から、振り回された愚痴まで ～

10月9日（金）18:30～20:30 NASPAニューオータニ 3F アリエス 座長：佐藤・井崎（SecureNavi株式会社）

こんな話を持ち寄ってください

最近、困ったこと

規程が守られない。チェックシートが戻ってこない。ルールで判断できない相談が来た。監査の指摘で振り回された。

最近、うまくいった工夫

読まれる規程に変えられた。台帳やチェックシートを「書くだけ」で終わらせなかった。現場に伝わる依頼の仕方を見つけた。

他社への質問

自社の事例がなくても結構です。「他社ではどうしているのか」を聞くことも、発言のひとつです。

今夜の進み方

- | | | |
|----|-----------------|----------------------|
| 01 | 「文系のセキュリティ」とは何か | SecureNavi代表 井崎から10分 |
| 02 | 皆さんの現場では、どうか | 立場、困りごと、試したことを持ち寄る |
| 03 | 出た話を掘り下げる | 現場の側と、経営・仕組みの側から |
| 04 | テーマごとにディスカッション | |
| 05 | 明日から、ひとつ変えるなら | 自助・共助・公助に振り分けて持ち帰る |

冒頭に乾杯と、近くの方との自己紹介・名刺交換の時間があります。お弁当と飲み物を手に、席からお話してください。

今年のワークショップのテーマは「いまこそ考える、セキュリティの自助・共助・公助」。今夜は、自社の工夫を持ち寄り、他社の実践から学ぶ「共助」の場です。道具ではなく、人と進め方の話をします。

文系のセキュリティギルド

今夜のような知恵の持ち寄りを、続ける場です。社外の担当者と月1回集まっています。



当夜で使う言葉：1線・2線・3線・経営

組織のリスク管理の役割分担を表す「3ラインモデル」（内部監査人協会 IIA が示す考え方。旧称は Three Lines of Defense、3つの防衛線）の言葉です。業種・職種を問わず、ご自身が最も時間を使っている立場で考えてください。研究・行政・ベンダーの方は、最も近い立場で結構です。

1線

現場

事業部門、開発、営業。ルールに沿って業務を行い、新しいツールを使いたい立場。

2線

ルールと確認

セキュリティ、リスク管理、情報システム。ルールを定め、守られているかを確認する立場。

3線

監査

内部監査。1線・2線から独立して評価する立場。

経営

決裁

予算と人員を決め、最終的な責任を負う立場。

当夜は、冒頭でご自身の立場に手を挙げていただき、進行の中で「1線の方に聞きたい」「2線の方は」と立場ごとに伺います。

座長



座長

2線の呑べえ 佐藤

SecureNavi株式会社
2線の匠クラウド 事業責任者

大手通信キャリアグループの子会社であるセキュリティ会社にて、システムセキュリティ監査業務に従事。大手通信キャリアグループ全体を対象としたExcelチェックシートによる監査、脆弱性診断結果のレビュー、未達事項（例外事項）の管理など、幅広い監査業務を経験。現在は SecureNaviにて、スリーラインディフェンスモデルにおける2線（セキュリティ部門・リスク管理部門）向けサービス「2線の匠クラウド」を通じ、リスクチェックの高度化・アップデートに取り組んでいる。



X



2線の匠クラウド



座長

井崎 友博

SecureNavi株式会社
代表取締役CEO

セキュリティコンサルティング企業で、大手から中小企業まで数多くの情報セキュリティ体制構築プロジェクトを手がける中で、納品した規程や台帳が運用されない現実を経験。その後、テック系スタートアップでWebエンジニアとしてプロダクト開発や新規事業開発に携わり、2020年に SecureNavi株式会社を創業。ISOの国内小委員会（SC 27/WG 1）委員。「文系のセキュリティ」の名付け親。



ポッドキャスト
「セキュリティコンプライアンスラジオ」



SecureNaviテックブログ
「社内規程を「コード」で書く時代」

今夜のルール

発言者を、外で明かさない

話の内容は共有して構いません。発言者の氏名と所属は外に出さない（チャタムハウスルール）。

出入り自由

途中の入退室、飲み物の補充は自由です。スクリーンには、その時点の問いを常に表示します。

20:30 に終了

ホテルの撤収が始まるため、終了時刻だけは守ります。